

公 安 委 員 会 定 例 会 議 の 概 要

開催月日：令和7年12月12日（金）

出席者

○公安委員会

久家委員長、渡邊委員、平川委員

○県警察

警察本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、情報通信部長、首席監察官、警察学校長、警務部総括参事官、総務課長、捜査第一課長、交通企画課長、監察課次席、科学捜査研究所副所長、運転免許課聴聞官、公安委員会補佐室長

大分県公安委員会定例会議における協議事項、大分県警察からの報告事項等は次のとおりであり、それぞれの事項について審議を行いました。

協 議 事 項

○ 公安委員会に対する苦情の申出について

警察本部から、公安委員会宛てに送付された苦情の申出についての説明がなされ、その内容を確認の上、受理するとともに、警察本部に調査を指示した。

○ 交番等の設置に関する規則の一部改正について

警察本部から、宇佐警察署の交番及び駐在所の所管区の変更に伴い、「交番等の設置に関する規則」の一部を改正することに関し、改正理由、改正の内容及び施行期日についての説明がなされ、協議の結果、原案のとおり一部改正することを決裁した。

○ 公安委員会に対する苦情の申出に関する調査結果について

警察本部から、公安委員会に対する苦情の申出について、当該調査結果の説明がなされ、協議の結果、申出人に対する回答を決裁した。

○ 運転免許の行政処分について

警察本部から、運転免許の取消しに係る意見聴取事案等に関し、各事案概要、処分内容、被処分者の意見・弁明等についての説明がなされ、協議の結果、原案のとおり取消処分等を行うことを決裁した。

報 告 事 項

○ 令和7年度全国警察逮捕術及び拳銃射撃競技大会の出場結果について

警察本部から、令和7年11月28日に東京都において開催された令和7年度全国警察逮捕術及び拳銃射撃競技大会の出場結果について、報告がなされた。

○ 監察事項について

警察本部から、監察事項について、報告がなされた。

- 「#知って見抜こう闇バイト メッセージ動画・静止画コンテスト」の審査結果について

警察本部から、県内の高校生や大学生等からいわゆる「闇バイト」の危険性を伝えるメッセージ性のある動画等を募集する「#知って見抜こう闇バイト メッセージ動画・静止画コンテスト」の審査結果について、報告がなされた。

公安委員から「一般の方の視点が反映された素晴らしい作品であった。闇バイトの危険性を広く周知するため効果的に活用していただきたい」旨の発言がなされた。
- 特殊詐欺等の被害未然防止等を図るための情報共有に関する協定の締結について

警察本部から、特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止等を図るために、地元の金融機関との間で情報共有に関する協定を新たに締結することについて、報告がなされた。

公安委員から「特殊詐欺の被害を最小限に食い止めることができるなど大変有意義な協定だと考える」旨の発言がなされた。
- 指定暴力団員に対する中止命令の発出について

警察本部から、暴力団の威力を示して、不当贈与要求行為を行った指定暴力団員に対する暴力団対策法に基づく中止命令の発出に関し、命令発出日、違反行為、違反行為者及び事案概要等について、報告がなされた。
- 行政不服審査法に基づく審査請求の受理について

警察本部から、運転者の区分を一般運転者とする運転免許証の有効期間の更新処分を受けた者から提出された行政不服審査法に基づく審査請求書の専決受理に関し、審査請求年月日、審査請求人、審査請求に係る処分、審査請求の趣旨及び理由等について、報告がなされた。
- 令和7年11月末現在の交通事故発生状況等について

警察本部から、令和7年11月末における交通事故発生状況、11月中に発生した交通死亡事故の概要及び過去10年間の交通死亡事故発生状況について、報告がなされた。

公安委員から「交通事故死者数が既に昨年1年間を上回っている。悲惨な事故を1件でも防止するため、引き続き、交通安全活動にしっかりと取り組んでいただきたい」旨の発言がなされた。
- 大分市佐賀関の大規模火災に伴う警察措置について

警察本部から、令和7年11月18日、大分市佐賀関で発生した大規模火災に伴う警察措置に関し、警備体制及び各種警察活動等について、報告がなされた。

公安委員から「大分東警察署と警察本部には、避難誘導等の初動活動を的確に行っていただいた。また、その後の警戒警らなどの活動により市民の方も安全安心を感じることができたと考える。現場で活動された職員の皆様方に心から敬意を表し、感謝申し上げる」旨の発言がなされた。

そ の 他

○ 放置違反金滞納者に対する差押えの実施結果について

警察本部から、令和7年12月4日、警察職員が放置違反金の滞納者方を訪問し、県内で初めて財産を差し押さえたことについての説明がなされ、公安委員から「逃げ得を許さないためにも、不当に滞納する者に対しては、今後も厳正に対応していただきたい」旨の発言がなされた。

○ 低解像度ナンバー推定プログラム（PRESLLIプレスリー）について

警察本部から、当県の科学捜査研究所が開発を行い、全国警察において活用されている低解像度ナンバー推定プログラムに関し、その機能や改良経過等の説明がなされ、公安委員から「画期的なプログラムに感嘆した。今後も捜査で積極的に活用していただきたい」旨の発言がなされた。